PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

61-120578

(43)Date of publication of application: 07.06.1986

(51)Int.CI.

H04N 1/40 B41J 3/04

B41J 3/10

(21)Application number: 59-240555

(71)Applicant: CANON INC

(22)Date of filing:

16.11.1984

(72)Inventor: FUKUSHIMA HISASHI

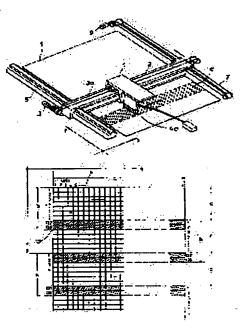
TAKADA YOSHIHIRO TOYONO TSUTOMU

(54) RECORDER

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent white and black stripes at the boundary from being caused by adopting the constitution that the preceding recording range and the next recording range are overlapped in recording a signal with a recording head having plural recording elements and the preceding and next overlapped parts are recorded complementarily.

CONSTITUTION: A nozzle array 4 having an arrangement length (b) is scanned in the (x) direction on recording paper 1, fed in the (y) direction and stopped and then the (x) direction scanning is executed again. The advanced distance (c) is made shorter than the length (b) of the nozzle in response to the rugged ness of a joint. The distance (c) of advanced feed to make two dots' share of ruggedness is shorter than the nozzle arrangement length (b) by two dots' share. In using all dots for scanning and advancing the nozzle as it is, hatched parts 13 are recorded overlappingly. Thus, in recording a signal selectively at each dot so as not to



cause suck overlap in the preceding and succeeding recording regions, the joint is recorded complementarily.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑲ 日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

@公開特許公報(A)

昭61 - 120578

| விnt_Cl_⁴ | 識別記号 | 庁内整理番号 | | @公開 | 昭和61年(| 1986 |)6月7日 |
|------------------------------------|----------------|-----------------------------------|------|-----|--------|------|-------|
| H 04 N 1/40 B 41 J 3/04 3/10 | 1 0 4 1 0 1 | A-7136-5C 7513-2C Z-7612-2C | 審査請求 | 未請求 | 発明の数 | 1 | (全7頁) |

記録装置 ❷発明の名称

顧 昭59-240555 20特

昭59(1984)11月16日

⑦発 明 者 宏 H 砂発 明 勉 伊発明 キャノン株式会社 の出願人

弁理士 加藤

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

1.発明の名称

起

2.特許請求の範囲

砂代 理 人

複数個の記録素子を有する記録へっドと記録体 を相対的に記録案子の配列方向と略直交する方向 に走査させ、走査終了時に走査方向と略直交する 方向に歩進送りして記録を行なう記録装置におい て、前回の記録範囲と次回の記録範囲を重複させ るとともに、重複部分における記録状態が前回と 次回において相補的となるように構成したことを 特徴とする記録装置。

3.発明の詳細な説明

[技術分野]

な。 個の読取素子を配列した読取へっドを備えた読取 装置に関するものである。

[従来技術]

例えば鉄1列に読取業子を複数個配列した読取 ヘッドを備えた記録装置においては、原稿を読取 ヘッドにより平面走査して読取った画像を電気信 号に変換し、 これを何じく複数個の記録素子を配 列した記録ヘッド側に送り、 記録を行なってい

このような装置においては記録へっドを移動さ せ、一定方向に移動させ、1走査分の読取りが終 わると今までの移動方向と夏角方向に記録へっド の歩進送りを行なっている。

このような記録装置により記録を行なうと歩進 送りを検度良く行なうことが難しく、前の走査で 読取った部分に相当する記録範囲と次の記録範囲 の部分で廃接するドットが重なったり触れたりし

この結果、記録された画像に思すじや白すじが 発生してしまう。

このような不都合が生じないように記録の初め に調整を行なっても、記録紙のずれなどにより、 調整がくずれてしまい、高品位の画像を得ること

このような状態を第1図に示す。第1図におい

特閒昭 61-120578 (2)

[目的]

本発明は以上のような従来の欠点を除去するために成されたもので、白すじや黒すじが発生せず、高品位の画像記録を行なうことができるように構成した記録装置を提供することを目的としている。

[実施例]

以下、図面に示す実施例に基づいて本発明の辞細を説明する。

第2回以下は本発明の一実施例を説明するもので、第2回(A)、(B)は本発明が適用される記録装置の概略構造を説明するもので、第2回(A)は記録へっドを記録紙上でX、y方向に走査し記録をする装置を示し、第2回(B)は記録

の走行はモータ9によって駆動されるエンドレス のワイヤ7を介して行なわれる。

このような構造のもとに x 方向への 1 回の走査により記録領域 6 を得た後、 y 方向へ歩進送りし、次の走査を行なう。

このような走査を繰り返し記録紙 1 の目的とする範囲内にドットによる記録がなされる。

第2図(B)に示す記録装置の場合も記録紙 1 が記録へっドの歩進送りのかわりに送られるだけ で全く同様にして記録が行なわれる。

カラー記録を行なう場合には、128個のノズルからなるノズルアレイ4aをイエロー,マゼンタ,シアン及びブラックの4色分4組並列に並べ、固定した記録紙1上をx、y走査して記録が行なわれる。

そして、各色を低ねる多重記録を行なう場合に おいて前回の記録領域と次回の記録領域の離目部 において離目部が目立たないように各色毎に独立 した相補的な凹凸パターンによる記録を行なう。

このような記録を行なう場合の一例を説明を値

ヘッドを歩進送りさせるかわりに、配鐘紙を送る 記録装置の例を示す。

本免明装置は原理的に両方の構造のものに適用 することができるが、以下の説明においては記録 紙を固定した第2図(A)に示すような構造のも のを例にとって説明する。

なお、第2図(A) , (B) においては何一部 分または相当する部分には何一符号が示されている。

第2図(A)において符号1で示すものは記録紙で、その上側には記録素子の一例として示す 128個のノズルアレイ4aを有する記録ヘッドが装着されたキャリッジ4がガイドレール2に 沿って掲動自在にx方向へ移動できるように配置されている。

キャリッジ 4 の移動はモータ 3 によって走行されるエンドレスのワイヤ 3 a によって行なわれる.

ガイドレール 2 はこれと直交して配置されたガ イドレール 5 に沿って y 方向に走行されるが、 そ

略化するためまず単色で記録する場合を例にとって説明する。

第3回は本発明装置の駆動方法の概要を説明するもので、記録紙1上で配列長さbのノズルアレイ4をx方向に走査し、y方向に歩進送りして停止し再びx方向の走査を行なう。

歩進送りの距離 c はノズルの長さ b よりも離目 の凹凸の程度に応じて短くする。

本実施例にあっては2ドット分の凹凸をつける ために歩進送りの距離 c はノズルの配列長さ b よ りも2 ドット分短い。

このまま全ドットを用いて走査し、歩進送りすると、第3回に符号13で示すように斜線の部分が重複して記録される。

そこで、前後の記録領域の中でこのような重複が生じないように各ドット毎に選択して記録を行なえば第4回に示すような難目部分の相補的な記録を行なうことができる。

即ち、第4図において1走査目と2走査目の駐 目部分において、2ドット分だけ重複させて記録

特開昭 61-120578 (3)

する範囲内で 1 走査目と 2 走査目の記録が相補的 になるように選択駆動信号をノズルに与える。

第6図にはこのような選択駆動の制御回路図が示されている。

即ち、入力データは選択駆動 R O M 6 0 の反転出力との論理機をとって出力データとするかどうかを決定する。

入力データは1走査目の1列目~n列目の1~128ドットと続き、1回の走査を行なった後、 歩進送りして2走査目の1~n列目の1~128 ドットとなるように整列されている。このデータ も郊7図(A)、(B)に示すように選択駆動 ROM内に書えらえている。

第 7 図 (A) 、(B) においてデータ値が 「1」のときには出力せず、「0」のときには出 力する。

ROMのアドレス値は1ドット進む毎にインク リメントされるカウンタの値である。

第7図(A)は1走査目の出力停止ドットを定め、第7図(B)は次の走査の出力停止ドットを

走査目の1列目の1ドット目をROMのアドレス1に、2ドット目をアドレス2に、127ドット目をアドレス4に対応させ、出力停止ドットを定めるデータを出力し1,2ドットと127,128ドットのデータ出力を停止させる。

第 9 図(A) は 1 走査目の選択駆動に用いる データ値で「0」は出力、「1」は出力停止であ

そして、1 定益で16列分のパターンを持って おり1 つのパターンが終わるとリフレッシュ信号 を入力し、このパターンを繰返して凹凸パターン を得る。

また、 第 9 図 (B) は 2 走 査 目 の 選択 駆 動 R O M の内容であり、ハイアドレスには何走 査目であるかのカウンタ値が入っており、ローアドレスは 1 , 2 , 1 2 7 , 1 2 8 ドット目が来る毎にインクリメントされる。

ここで注意すべきことは離目部分の重複領域で 前の走査において「0」だったところは「1」 定めている。

即ち、第7図(A)においては127,128ドット目に出力停止ドットを定めてこの部分を 凹凸の記録パターンにしている。

次の走査においては1走査目で記録しなかった 2ドット分についてのみ記録するように選択駆動 する。

このような処理によって難目部分を2ドット分だけ相互補完的とした第4図に示すような記録値像が得られる。

ところで、上述した駆動方法では 1 ~ 1 2 8 ドットの全てのドットについて出力するか否かを 判断していたが、選択駆動の必要なのは難目部分 の重複する 2 ドット分だけであるため、この部分 の 2 ドットのみの出力停止ドットを決めてもよ

この場合における回路構成を第8図に、選択駆動ROMの内容を第9図(A)~(C)に示す。

前走査で「1」だったところは今度は「0」にす ることである。

2 走 査 目 の 1 2 7 、 1 2 8 ドット目と 3 走 査 目 の 1 、 2 ドット目についても対応するアドレスに 1 2 7 ドット目が「0」の列は 1 ドット目が「1」、「1」の列は「0」、 1 2 8 ドット目が「0」の列は 2 ドット目は「1」、「1」の列は「0」となるように R O Mにデータを入力してお

このような処理方法を採用しても第4図に示したような記録画像が得られる。

ところで、 第5 図は太免明装置によって記録した場合に前後の記録領域の離目がずれても目立たない状態を示している。

即ち、相補的な記録を行なわない場合には第1 図に示すように離目に白すじが直線的に連続した ものとなり、よく目立つが本発明装置を用いた場 合際間が分離した点として拡散するため白すじが 目立たなくなる。

なお、上述した実施例にあっては大容量のメモ

特開昭 61-120578 (4)

リを用いて処理を行なっていたが、バッファメモ リをほとんど必要としない読取り、記録装置にも 適用される。

第10 図がその例を示すもので、この装置においては図示していない 原稿像を結像レンズ 1 2 を介して読取素子 1 3 に結像して画像を読取り、読取素子 1 3 と同一個数の記録素子を有する記録素子 2 0 に読取信号を送り、記録を行なう。

結像レンズ12と読取素子13とはキャリッジ 11内に設けられており、キャリッジ11はガイドレール16に沿ってx方向へ移動しつつ走査を 行ない、1走査が終るとガイドレール16の円端 を支持するキャリッジ14を介してガイドレール 17上をy方向に歩進送りされる。

また、読取素子20もキャリッジ21を介してガイドレール22に沿って太方向に走査して記録を行なうとともに、ガイドレール22の両端を支持するキャリッジ23を介してガイドレール24上を7方向に歩進送りされる。

このような装量においては読取られた画情報は

第2図(A),(B)は本発明が適用される各々 具なった記録装置の例を示す針視図、第3図は重複に対象の例を示す針視図、第3回は組織的な配録領域を示す説明図、第5図は相補的記録状態の説明図、第6図は遺択駆動のプロック図、第7図(A),(B)は選択駆動ROMの内容を示す表図、第8図は他の駆動方法に用いられる選択駆動回路のプロック図、第9図(A)~(C)はは第8図に示した回路を用いた場合の選択駆動用される他の記録装置の斜視図である。

1 … 記録紙

2 , 5 … ガイドレール

3 , 9 … モータ

4…キャリッジ

4 a --- ノズルアレイ 6 --- 記録領域

60 ··· 選択駆動 R O M

特許 山 順 人 キャノン 株式会社 代理人 弁理士 加 藤 卓



ただちに記録素子側に記録情報として送られノズ ルアレイ等が駆動され記録を行なうことができ、 バッファメモリをほとんど必要としない。

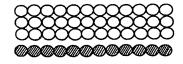
このような装置においても画像を説取る際に重複して説取り、記録時において説取案子を選択駆動することにより難目部分が相互補完的となる第4図に示すような記録画像を得ることができる。
【効 果】

以上の説明ら明らかなようになべった。
は、複数個の記録業子を記録を行なう場合、前の記録範囲とが前回の記録範囲を動作させるとともに重複部分が同じとない。
は、前回と次回の記録境界においてドットの決し、
が発生することがなく、記録品位を大幅に向上させることができる。

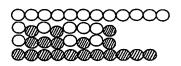
4 . 図面の簡単な説明

第1 図は従来装置による記録状態の説明図、第 2 図以下は本発明の一実施例を説明するもので、

第 1 図

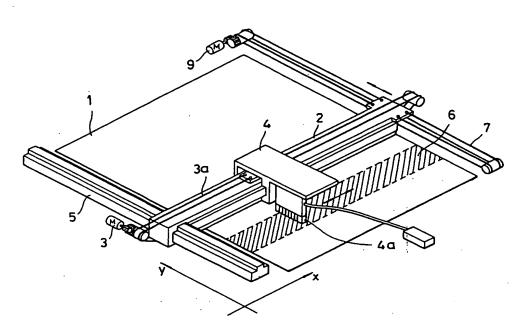


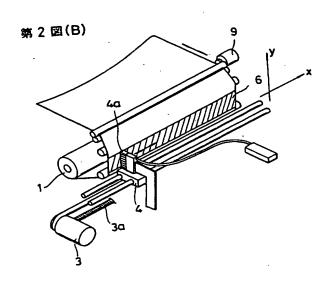
第5図



特開昭 61-120578 (5)

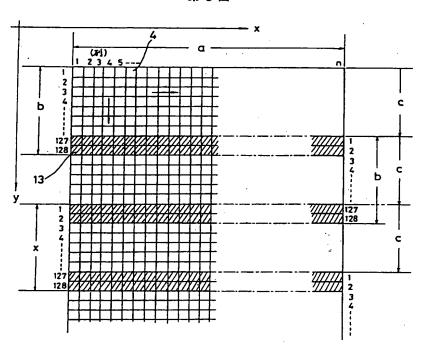
第2図(A)





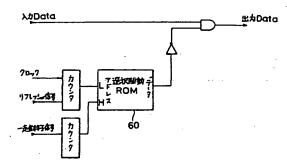
特開昭 61-120578 (6)

第3図

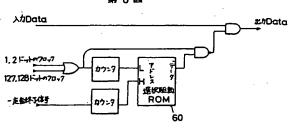


第4図

第6國



第8図



特開昭 61-120578 (ア)

寫9図(A)

| 7FU2 | 7 | TFLZ | ₹ • | yfuz | 7 | TFLE | 7 | TRIZ | 7 | TFLZ | Ŧ | PFLA | Ť | TFLZ | 7 |
|--------------------|------|------------------|--------|---------------|------|------|------|--------------------|------|------------------|------|-------|-----|-----------------------|-----|
| 000 1 2 3 | 0000 | 4 5 6 7 | 001 | 89 4 B | 0001 | CDEF | 0011 | 010 1 2 3 | 0000 | 4 5 6 7 | 0001 | 89 AB | 001 | 03C 3D 3E 3F | 000 |

第9図(B)

| TFU | Ŧ | TFLZ | Ŧ. | TFLL | 7 | かい | Ţ | TILZ | Ţ | TFLE | 7 | TFLZ | 5-0 | TFLE | 7 |
|-----|----|------|----|------|----|----|----|------|---|------|----|------|-----|------|---|
| 040 | | 45 | 00 | 68 | 10 | S | 00 | 050 | 1 | 45 | -0 | 8 | 00 | 07C | 1 |
| 2 | 00 | 6 | 1 | AB | 0 | F | 1 | 3 | 0 | 6 | 0 | AB | 1 | E | 8 |

第9四(C)

| ſ | A | Ы | A | Ы | Α | D | Α | ٥ | A | D | Α | D | Α | D | Α | D |
|---|---------------|-----|---------|------|-----|-----|------|------|-----|-----|---------|------|--------|------|------|-----|
| ľ | 080 1 2 | 110 | 4 5 6 7 | 0000 | 89A | 101 | טששו | 000- | 012 | 100 | 4 5 6 7 | 500- | 89 A B | 2000 | ООШЬ | 100 |

第 7 図 (A)

| 7FL2 | Ŧ | TRI | 7 | TFAX | Ť | PFLIZ | 7 | 75.2 | 7 | 7128 | ? | Tru | 7 | | PELZ | 7 |
|-------|---|-----------|---|------|-----|------------|---|------------|---|------------|---|------|---|---|------------|--------|
| 000 | Ö | 080 81 | ò | 100 | 000 | 180 181 | Ó | 200 201 | ó | 280 281 | ò | 300 | 8 | | 780 781 | ģ |
| ĎŎ2 | ŏ | | ŏ | iŏż | ŏ | 182 | ō | 202 | ŏ | 282 | Ŏ | 302 | Ŏ | | 782 | ŏ |
| | : | | : | | : | | | | ; | | : | | | | | |
| 1 : 1 | | | : | | | | : | | : | | : | | • | | | |
| 070 | ò | OFD | o | | ò | IFD IFE | ọ | 27D | ò | 2FD 2FE | ò | 37.D | 0 | | 7FD 7FE | o O |
| 07F | ŏ | ŎFF | i | iźĦ | ĭ | iff | i | 27F | ŏ | ŹFF | ĭ | 37F | i | i | 7FF | ŏ |

第 7 関 (B)

| PFLZ | 7 | TFLE | ţ | TFLX | 7 | FF-12 | 7 | TFLE | 7 | TFLZ | 7 | TFEE | 7 | | 754 | Ŧ |
|------------|---|------------|----|------------|---|------------|----|------------|---|------------|---|-------------|----|---|------------|----|
| 800 801 | 7 | 880 881 | 00 | 900 901 | 0 | 980 981 | 00 | AOO AOI | 1 | A80 A81 | 0 | B00 B01 | 00 | | F80 F81 | 1 |
| 802 | 0 | 882 | Ō | 902 | 0 | 982 | Ō | A02 | 0 | A82 | Ō | BÖŻ | Ŏ | : | F82 | 0 |
| 1: | : | | : | | : | | : | | : | | : | | : | | | |
| 1: | 1 | | | | : | | : | | : | | : | | : | | | |
| 870 | o | 8F0 | 0 | 97D | 0 | 9FD | 0 | A7D | o | AFD. | 0 | B7 D | o | | FFD | 0 |
| 87E 87F | | 8FF 8FF | 1 | 97月 | î | 9FE 9FF | 1 | A7F | - | 椞 | | B7E B7F | 1 | | 開 | 00 |

第10図

